



● 7月進研模試の結果を受けて

7月26日(日)に実施された進研模試の結果が出ました。すでに生徒および保護者の皆様にはご連絡していますが、ベネッセの模擬試験については、インターネット(ベネッセのマナビジョン)を介して個人の成績状況をご確認することができます。すでに結果をご覧の方もいると思いますが、ご家庭で親子一緒に結果をご覧いただき今後の進路に向かう一助としてほしいと思います。

(進路指導部：齊藤 恭広)

I 7月進研模試の結果状況について

【表1】 受験結果 (過去回比較)

	国数英総合				国語				数学				英語			
	4年			5年	4年			5年	4年			5年	4年			5年
	7月	11月	1月	7月	7月	11月	1月	7月	7月	11月	1月	7月	7月	11月	1月	7月
平均偏差	58.7	56.9	57.9	56.5	57.3	55.4	55.3	54.2	57.8	55.1	57.1	55.6	57.2	57.7	58.1	57.3
72以上	5	3	6	5	3	1	0	2	5	3	6	4	4	3	5	4
68~72	5	5	6	4	4	3	6	2	8	4	3	4	3	7	3	2
58~68	28	25	22	20	29	27	20	22	22	22	27	23	24	24	30	25
54~58	12	15	11	10	12	9	17	13	9	10	4	8	12	13	9	16

● 志望校合格可能性 60%(C判定)の目安

- 偏差値 72 以上 (得点率 70%) : 東大・京大・国公立医学科
- 偏差値 68 以上 (得点率 60%) : 旧帝大・東工大・一橋大・筑波大など
- 偏差値 58 以上 (得点率 50%) : 新潟大など地方国立ブロック大学
- 偏差値 54 以上 (得点率 42%) : 国公立大学全体

数値はあくまでも目安です。
これを上回ることが
目標になるということです。



【表2】 受験結果 (過去度比較)

7月高2進研	国数英総合				国語				数学				英語			
	12期	13期	6年	5年	12期	13期	6年	5年	12期	13期	6年	5年	12期	13期	6年	5年
平均偏差	57.4	57.9	58.1	56.5	56.9	55.2	54	54.2	55.5	56.2	58.7	55.6	57.7	60.1	58.3	57.3
72以上	4	6	5	5	3	2	1	2	5	3	7	4	4	11	3	4
68~72	5	6	6	4	4	3	3	2	2	6	8	4	6	6	7	2
58~68	21	23	23	20	25	23	23	22	19	19	23	23	24	21	24	25
54~58	13	12	14	10	10	17	10	13	9	16	8	8	10	10	14	16

コロナウイルスの影響で4月・5月と学校が休校となり、1学期は6月・7月の2ヶ月間で授業の進度や進路探究学習、模試対策を行うなど、生徒にとって忙しく大変な2ヶ月となりました。この状況の中、短い時間ではありましたが模試対策やブレ模試、放課後講習で準備を行い上記の結果となりました。全ての教科で前回を下回ってはいますが、偏差値 68 以上の層については、昨年 11 月の状況をほぼ維持しています【表1】。また、13期生から現6年生の7月高2進研模試の結果を比較した【表2】では、過去3年間の平均偏差値の平均(国 55.4 数 56.8 英 58.7)からどの教科も約 1.2 ポイント低い結果でした。度数分布では、最上位層はいるもののその下の 58~72 の層が若干薄くなっています。全員が次回模試に向けて全国偏差値+2 を目標にしていくことが重要となってきます。【表3】は今回の模試の得点と全国偏差値の対応表(一部抜粋)です。全国偏差

偏差値を2あげるといことは、どういうことか

その一例を考えてみると・・・。

値を2上げることは3教科得点で約9点、各教科得点で約3点上げればよいことがわかれると思います。3点は、各教科とも小問1つ分の得点です。決して難しいことはありません。「漢字が1つ多くかける」、「数学の教科書例題の問題が1つ解ける。」「英語の文法問題が1つ解ける」、「ケアレスミスを1つ減らす」etc…ほんの小さな注意ひとつで偏差値は大きく変わります。1題1題の問題を丁寧に、かつ正確に解く意識を強く持って普通の授業から取り組んでいきましょう。

【表3】 7月進研模試の得点と偏差値の対応

3教科		国語		数学		英語	
得点	偏差値	得点	偏差値	得点	偏差値	得点	偏差値
203	72.1	69	72.2	78	72.0	71	72.0
194	70.0	67	70.7	75	70.3	68	70.2
186	68.2	64	68.4	71	68.1	65	68.5
177	66.1	61	66.1	67	66.0	61	66.2
168	64.0	59	64.6	64	64.3	58	64.5
160	62.1	56	62.3	60	62.1	54	62.1
151	60.0	53	60.1	57	60.5	51	60.4
143	58.1	51	58.6	53	58.3	47	58.1
134	56.0	48	56.3	49	56.1	44	56.4
126	54.2	45	54.0	46	54.5	40	54.0

II 大学の判定について

【表4】 進研模試の判定の意味

	6年生	5年生
A	合格可能性80%以上	この調子で学習を進めれば合格は見えてくる
B	合格可能性60%以上	教科バランスを意識して学習を進めれば合格は見えてくる
C	合格可能性40%以上	弱点教科対策をしっかり行えば合格は見えてくる
D	合格可能性20%以上	まず教科書の基本を完全にマスターしよう
E	合格可能性20%未満	学習量を増やして基本問題の定着に取り組もう

【表4】は進研模試での志望校に対する判定の意味を掲載しています。6年生になってからの判定は、それぞれの志望校の合格可能性を示すこととなります。来年(6年生)の9月以降に、A, B判定が出れば志望校に対する受験勉強が順調に進んでいることを意味し、D, E判定が出れば志望校への合格がかなり厳しくなっていることとなります。しかし5年生での判定は合格の可能性というよりは、現在学習している量と質が目標とする志望校にとって適正な学習となっているかどうかを見るものとなっています。つまり、A, B, C判定は今の学習を油断することなく毎日継続していけば合格に近づくことができ、D, E判定なら学習方法を見直し学習量を増やしていけば合格が見えてくることを示しています。5年生で志望校をあきらめる必要は一切ありません。高い目標を掲げたのであれば、目標達成のために「何をすべきか」を具体的に分析して「今すぐ」実行してください。必ず1年半後の自分が見えてくることでしょう。

「5年生向けの判定」は何を示しているのだろうか？



III 次回、11月の進研模試について

10月30日(土)、31日(日)に11月進研模試が行われます(10月23日(土)、24日(日)はプレ模試の予定)。次回の模試から、いよいよ理科・社会を含む5教科の模試となり本格的に受験勉強を始める時期となります。文系の生徒は、国語・数学・英語・世界史・日本史・基礎理科(基礎化学と基礎生物)、理系の生徒は、国語・数学・英語・地理・化学・物理または生物の5教科7科目(6科目)を受験します。国公立大学の受験は、大学共通テスト(1次試験)で5教科(6,7科目)を受験し、2次試験で3教科(文系は国・英・社または数、理系は英・数・理)を受験する大学がほとんどです。苦手教科(科目)が1つでもあると、国公立大学の合格は厳しくなることとなります。教科数が増えることから、直前にまとめて模擬試験の準備をすることはできません。これからの1ヶ月半を計画的に少しずつ準備を進めて、5教科模試のスタートを順調にきれるようにしてほしいと思います。学校でも、授業・課題・放課後講習などをこれから計画して皆さんのサポートを行っていきます。

IV 第2回 駿台高2模試(ハイレベル記述式)のご案内

10月10日(土)に第2回駿台高2模試(希望者対象)を計画しました。駿台模試は、入試本番の記述試験を想定したより実践的な模擬試験となっています。受験し、すぐに復習することで本番記述形式の解答の考え方、書き方などを身につけるために大切な模擬試験となります。国公立難関大学を志望する生徒だけでなく、国公立大学や私立難関大学を志望する生徒は積極的に受験してほしいと思います。9月7日(月)に申込書を生徒に配付していますので、9月23日(水)までに申込用紙を担任に提出してください。なお、受験料(3,600円)は申し込み終了後に徴収することとしていますので、受験料の徴収案内は後日お知らせします。申し込み時に受験料は不要です。

量が質を生む! 自分にしっかり時間を投資し、期末を迎えよう!